

『武蔵住宅研究会』で施工や寄付を集め寄贈しました。

新型コロナウイルス感染症が国内で急拡大し緊急事態宣言が発出されましたが感染者が減少し5月下旬に緊急事態宣言は解除されました。6月に入りまして再び感染者は増加傾向にあり東京アラートも発令され予断を許さない状況となっております。

そのような状況下で医療現場ではPCR検査場の絶対的な不足が非常に問題視されており、当研究会の理事会におきまして何かしらの貢献が木材・建設関連業者としてできないかを協議をしてみましたが、医療施設での院内感染及び医療従事者の安全確保、隔離された診療・検査施設として活用いただくために、武蔵住宅研究会という地域工務店・建設会社の建設団体として国産材のCLTを活用したユニットハウスのPCR検査場を埼玉県大野知事宛に7月3日に無償寄贈させて頂きました。

7月2日に埼玉県のホームページ『県政ニュース（報道発表資料）』欄に【国産材CLTユニットハウス寄贈に関して】の内容が発表されましたのでご報告申し上げます。

【埼玉県ホームページ】

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0001/news/page/2020/0702-02.html>

武蔵住宅研究会事務局 吉田宏之

